

社会に対する コミットメント

■「ビジネスと生物多様性に関するイニシアティブ」のリーダーシップ宣言

リコーは、2008年5月にドイツで開かれた生物多様性条約第9回締約国会議で「ビジネスと生物多様性に関するイニシアティブ」*1のリーダーシップ宣言に署名し、事業活動が生物多様性に与える影響を把握し、その保全に努めることを約束しました。 *1 <http://www.business-and-biodiversity.de/en/homepage.html> (英語)

■ 国連グローバル・コンパクト

リコーは2002年4月、国連グローバル・コンパクト(GC)*2に日本企業として2番目に署名しました。また2007年6月にはGCの「気候に配慮するビジネスリーダー綱領」*3に賛同し、署名しています。

*2 1999年1月にコフィー・アナン国連事務総長(当時)が提唱。人権、労働、環境、腐敗防止の4分野にわたる10の原則から構成される。
(<http://www.unic.or.jp/globalcomp/organiz.htm>)

*3 http://www.unglobalcompact.org/Issues/Environment/Climate_Change/index.html (英語)

■ ポズナニ宣言

2008年12月、ポーランド・ポズナニで開かれた「気候変動枠組条約第14回締約国会議」の会場で発表された声明*4に賛同を表明しました。リコーグループは、この声明の「気候変動に対して積極的に取り組む人間社会全体の仕組み構築を促進すべき」との考えに賛同しました。日本企業の表明は当社のみです。

*4 <http://www.poznancommunique.com/> (英語)

■ 企業と生物多様性イニシアティブ (JBIB)

2008年4月1日、生物多様性の保全を目指して積極的に行動する企業の集まりである「企業と生物多様性イニシアティブ」(JBIB)*5が発足しました。リコーは、発起人企業の一員として、設立当初から参加しています。

*5 [70ページ http://www.jbib.org/](http://www.jbib.org/)

社外からの 評価

■ 世界で最も持続可能な100社に選出

2009年1月、リコーは、カナダ・コーポレートナイツ社が、米国イノベスト・バリュー・ストラテジック・アドバイザーズ社の調査分析データをもとに評価する「Global 100: 世界で最も持続可能な100社」*6に5年連続で選出されました。 *6 <http://www.global100.org/> (英語)

■ トーマツ「環境格付け」で最高ランクのAAA評価

2008年11月、トーマツ審査評価機構による環境格付けにおいて、リコーは、4年連続で最高ランクAAAに評価されました。

SRI インデックスへの組み入れ

日本においてリコー株式会社は多くのエコファンド、SRIファンドに組み入れられ、運用されており、モーニングスター社会的責任投資株価指数にも2003年の創設時以来組み入れられています。また米国ダウ・ジョーンズ社とスイスのSAMグループによるDJSI (ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス)に7年連続で、英国フィナンシャルタイムズ社とロンドン証券取引所の合弁会社FTSEグループによるFTSE4Goodグローバル・インデックスに6年連続で組み入れられました。[組み入れ状況は2009年5月1日現在]



■これまでの社外からのおもな評価

2003年 4月	第12回 地球環境大賞 大賞受賞
2003年 5月	アジアの企業として初めてWEC (World Environment Center) ゴールドメダル受賞
2004年12月	日本経済新聞社 第8回「環境経営度調査」第1位(4回目)
2005年 7月	独エコム社「企業の社会的責任格付」で世界第1位(IT産業部門)
2007年 7月	第5回 日本環境経営大賞 環境経営パール大賞(最高賞)受賞
2007年12月	J.D. パワー アジア・パシフィックによる日本の顧客満足度調査5部門で1位(カラー&モノクロ複写機/複合機、カラー&モノクロレーザープリンター、ソリューションプロバイダー(導入・構築))
2008年 1月	米イノベスト・ストラテジック・バリュー・アドバイザーズ社による「社会・環境格付」で最高ランクAAAの評価